■ 廃棄方法

◯ご不要になった使用済み内蔵電池は放置したり、一般ゴミと一緒に捨てないでください。
◯廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。
製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。
なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

◯本製品の誤った使用方法によるもの　◯間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
◯乱暴な取り扱いによるもの　◯その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理をさせていただきます。

■ 仕様・サイズ

品　　番	#1824235	寸　　法	直径20.3㎝ 高さ7.6㎝
品　　名	バイオライト ケトルチャージ	USB出力	10W（5V 2A）（連続出力）
材　　質	ステンレス鋼（底の厚さ3㎜）	内蔵電池	1250mAh（3.7V）リチウムイオン電池（$LiFePO_4$）
容　　量	0.75L（満水容量0.85L）	付 属 品	フレキシブルUSB延長コード ※携帯電話・スマートフォンなどの充電用ケーブルは付属していませんので別途ご用意ください。
本体重量	908g		

Li-ion

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

株式会社モンベル　本　社　〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2　Tel. 06-6531-3544　フリーコール：0088-22-0031
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで　モンベルホームページ　http://www.montbell.jp

07-337-1505

取扱説明書

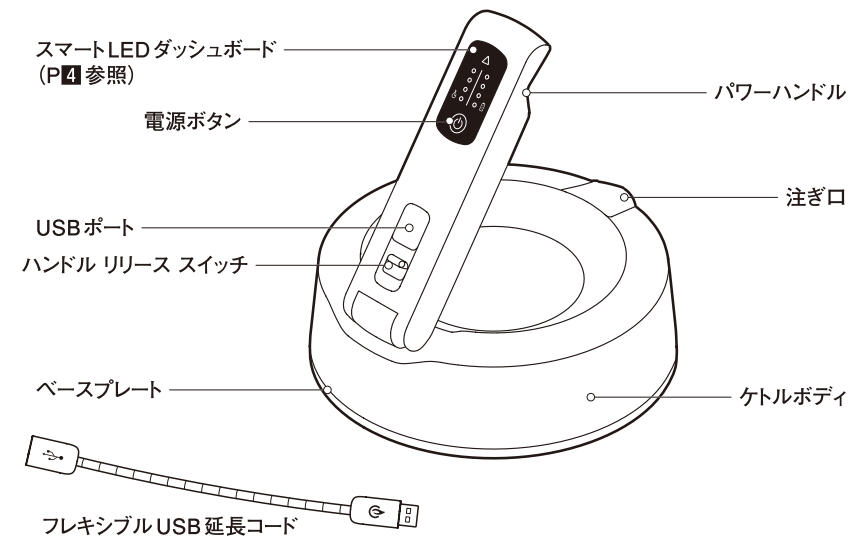
バイオライト ケトルチャージ

BioLite Kettle Charge

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用の前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。
なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

本製品は火と水の温度差を利用して発電するユニークな製品です。料理や飲み物に使うお湯を沸かしながら発電し、内蔵電池に電気を蓄えることができます。10W出力のUSBポートに接続するとタブレットやスマートフォンなど様々な電子機器の充電が可能です。アウトドアはもちろん、日常生活でも使えるスマートなデザインです。

■ 各部の名称

■ 安全上の注意 必ずお読みください

⚠ 危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

◯パワーハンドルを火気に近づけないでください。本製品の一部は可燃性です。破損や火災の原因となります。

◯パワーハンドルを水やその他の液体に浸さないでください。感電や漏電、事故の原因となります。また、濡れた手で操作すると、製品内部の電子部品を損傷する恐れがあります。パワーハンドル部分に防水性はありません。

◯ショートさせないでください。スパークにより引火爆発や火災の原因となります。

◯分解や改造を行わないでください。感電や火災、事故の原因となります。

◯重い物の下に置いたり、落下させて衝撃を与えないでください。発熱、発火、破裂の原因となる場合があります。

⚠ 警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

◯水を入れずに空だきしないでください。本製品に水を入れずに加熱した場合、破損する恐れがあります。

また、本製品内部の電子部品を保護するために「MIN fill」ラインまで水があることをかならずご確認ください。（P3参照）

◯本製品の「MAX fill」ラインより上に水を入れないでください。水を入れすぎると吹きこぼれや、やけどをする恐れがあります。（P3 参照）

◯使用中や使用後は本体が非常に高温になるので、手を触れないでください。周囲の状況に注意し、お子様が近づかないようにしてください。

◯使用中や使用後は本体が非常に高温になるので、USB機器などが接触すると破損する恐れがあります。USB機器は本製品から離して設置してください。また、お湯を沸かしている途中にUSB機器のケーブル類を差し込む際は、熱くなっている金属面に触れないように十分注意してください。

◯異常や破損した状態で使用しないでください。感電や漏電、事故の原因となります。

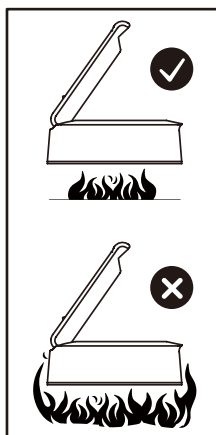
◯電子レンジや高圧容器には入れないでください。爆発や火災を招く危険性があります。

◯本製品を、火力の調整ができない火元や、本製品の周囲にまで炎が及ぶような火元の上には決して設置しないでください。炎がベースプレートより上部に及ばないようにしてください。（右図参照）

◯高温になった表面に触れないでください。金属の表面は非常に熱くなります。本製品を持ち上げたり運んだりする際は、注意のうえ、耐熱性のミトンや布類でパワーハンドルを持ち、持ち運びしてください。

◯本製品は湯沸かし専用です。水以外の液体や食品を入れると、内部が損傷し、保証の対象外になります。本製品を湯沸かし以外に使用しないでください。

◯熱湯を注ぐときはご注意ください。中身が非常に熱くなっているため、やけどをする恐れがあります。

◯本製品を、水ぬれの恐れのある、湿気や水気の多い場所で使用あるいは保管しないでください。製品内部の電子部品を損傷する恐れがあります。

⚠ 注意 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

◯強い衝撃を与えないでください。

◯使用後はよく洗って乾燥させてください。

◯本製品を収納する際は十分に温度が下がっていることを確認して収納してください。また、緊急時以外は本製品に水をかけたりしないでください。破損・変形の原因になります。

◯乱暴な取り扱いはケガや本体の破損の原因となります。

◯本製品は防水仕様ではありません。

◯お子様の手の届かない場所に保管してください。

◯定格以上で電圧を必要とする機器に接続しないでください。接続前に必ず接続する機器の電圧を確認してください。定格を越える機器を接続すると接続した機器が破損する恐れがあります。

◯磁気やホコリの多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。

◯接続する機器によっては、登録内容のメモリーが突然消失する可能性があります（接続する機器の取扱説明書をご覧ください）。接続する機器の登録内容は必ずバックアップを取ってからご使用ください。本製品の使用に際して、登録内容などの保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。

◯食器洗浄機のご使用はできません。

◯IHヒーターには対応していません。

■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。

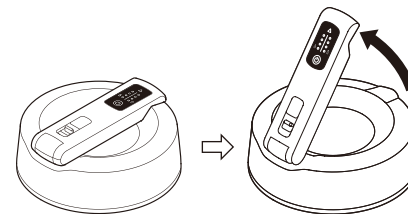
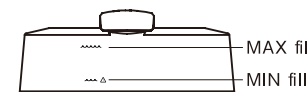
□破損箇所がないか

□スマートLEDダッシュボードなどが正常に作動するか

■ 使用方法

◯ 水を入れる

❶パワーハンドルを起こします。

❷注ぎ口から本製品に水を入れます。蛇口またはビンなどを使って、できるだけ正確に注ぎ、機器の上に水をこぼさないようにしてください。湖や川の中に機器を浸さないでください。パワーハンドルを絶対に濡らさないようにしてください。

⚠ 750㎖のMAX fillラインを超えて水を入れないでください。水の入れ過ぎは吹きこぼれを起こし、やけどをする恐れがあります。また必ずMIN fillラインより上まで、水を入れてから火にかけるようにしてください。

名称と機能

スマートLEDダッシュボード 表示

加熱強度LED
炎型のアイコンのある左側は、火元の強度を示しています。
○温度を高くすると、より多くの電気が作られます。
○4つのLEDライトは温度を示しており、ライトが1つの場合は低温を、4つすべての場合は超高温を示します。
○過熱と電子部品の損傷を避けるため、本製品は組み込み式の警告システムを備えており、機器が熱くなりすぎた際にアラームを発します。

警告システムLED

電源ボタン
一時的にアラームを消すことが可能

バッテリーLED
バッテリーアイコンのある右側は、内蔵電池にどのくらい充電されたかを示しています。
○本製品は、機器を充電しながら高温の環境に耐えられるように設計された、安全性の高い特殊な充電池を内蔵しています。
○LEDライトは1つで約25%分の充電を表します。4つのライトすべてが点いているときは、内蔵電池は完全に充電されています。

加熱する（本製品の内蔵電池を充電する）

必ず、本製品に水を入れてから火にかけるようにしてください。加熱中の動作については、P4の「スマートLEDダッシュボード 表示」で詳細をご確認ください。

❶水を入れた本製品を火元に置きます。ムラのない加熱とパワーハンドルの保護のために、火の中心に本製品を設置してください。
※水位がMIN fillライン（P3）を決して下回らないようにしてください。下回った場合、アラームが鳴りますので、すぐに水を足してください。

❷加熱することで、本製品の内蔵電池が充電されます。スマートLEDダッシュボードの左側最上部の「加熱強度LED」ライトが点滅し始めた場合、温度が上限に近づいていることを示しています。本製品と火元を注意して監視してください。

❸沸騰したらすぐに火を止めてください。沸騰状態が続くと吹きこぼれる恐れがあります。

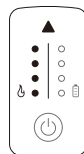
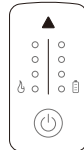
※赤い三角形の「警告システムLED」ライトと4つの「加熱強度LED」ライトすべてが点滅し（図A）、ビーっという音がする場合は、炎が高温すぎることを示しています。本製品を火元から遠ざけるか、火力を弱めてください。温度が下がるとビーっという音は数秒以内に止まります。

（図A）

※一定の音が鳴り続け、赤い三角形の「警告システムLED」が点灯した場合（図B）、お湯が沸騰してほとんど蒸発している状態であることを示しています。すぐに水を足してください。

（図B）

※アラームを一時的に消す場合は、電源ボタンを押してください。

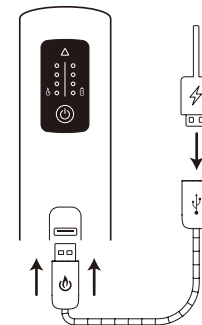
※数分経ってもアラームが止まらない場合は、本製品を火元から完全に外してください。アラームが鳴っているときに何の対応も行わないと、本製品が破損する恐れがあります。

本製品を火力調整が出来ない火元や製品の周囲にまで炎が及ぶような火元の上には決して置かないでください。このような使用は、やけどや物的損害を被る恐れがあります。使用中は本製品が非常に高温になります。使用中もしくは使用直後は本製品のどの部分にも素手で触れないようにしてください。

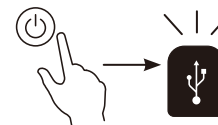
他の機器へ充電する（出力）

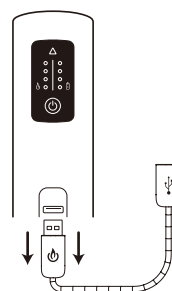
本製品は10W（5V、2A）の電力を生み出します。このエネルギーは、内蔵している安全性の高いリン酸鉄リチウムイオン電池（$LiFePO_4$）に蓄電され、湯沸かしの最中または湯沸かしをしていない時でも、他の機器を充電できます。
一般的に10Wはヘッドランプ、スマートフォン、GPS機器、カメラ、タブレットなどを充電するのに十分な電力です。ただしお持ちの電子機器の適正な充電条件が、この仕様（5V USB）の範囲にあるか確認してください。

お湯を沸かしながら充電する

バッテリー LEDが1つ点灯すると、湯沸かしをしながら充電を開始することができます。お湯を沸かしながら充電する際は、注意しながら付属のフレキシブルUSB延長コードをパワーハンドルのUSBポートに接続してください。コードを接続すると充電が始まります。

※フレキシブルUSB延長コードは、表面の温度が高くなっても、内部のケーブルを熱から守るように設計されています。
※熱により損傷を受けますので、コードを本製品に垂らしたり、電子機器を火の近くに置いたりしないでください。

あとから充電する

お湯を沸かしていないときに充電するには、本製品の内蔵電池に電池残量があることを確認してください。本製品が冷めて、火元から離れているときは、電源ボタンを押して内蔵電池を起動します。そのあとお持ちの機器をパワーハンドルに直接つなぐことができます。

お湯を注ぐ

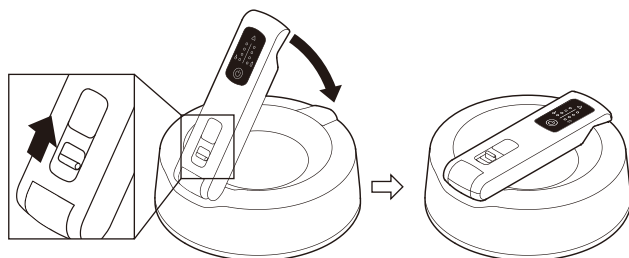
❶水が沸騰しているときに、フレキシブルUSB延長コードをパワーハンドルから外す際は十分に注意してください。耐熱性のミトンや十分な布類による保護をして本製品から外し、お好みの容器に注ぎます。

❷本製品のベースプレートは、使用後は非常に熱くなります。お湯を沸かしたあとは、本製品を燃焼の恐れのない平らなところに置いてください。金属または石の表面か、使用されていないコンロなどが好ましく、そこで本製品を冷まします。急いで冷ますときは、本製品を冷水で満たしてください。
※お湯を注ぎ、本製品が空になった状態で「警告システムLED」が点灯し、アラームが鳴ることがあります。（本体が熱く、「空焚き」であると認識するため）アラームが鳴った場合は、すぐに水を足してください。
※本体が熱い間は、加熱強度LEDライトが1つ点滅します。本体が冷めるとライトは消えます。

熱湯を注ぐときは本体及び中身が非常に熱くなっているため、やけどをしないようにご注意ください。

◯ 収納方法

❶本製品を燃焼の恐れのない平らな場所に置くか、冷水を本製品に入れるなどして、完全に冷まします。

❷完全に冷めたら、残っている中身を注ぎだして、本製品が空になっていることを確認します。

❸パワーハンドルを収納ポジションに戻すため、ハンドルリリーススイッチをスライドさせ、パワーハンドルを下げます。
なお、この状態で容器は密閉されるわけではありません。収納する前に、本製品が空であることを再度確認してください。

■ よくある質問

①ケトルを火にかけて電源ボタンを押してもスマートLEDダッシュボードに何も表示されないのですが?

・内蔵電池残量が無い状態から発電を開始する際は、火にかけても内蔵電池が休止状態のままで発電・蓄電を開始しない場合があります。本製品を火にかけて電源ボタンを押してもスマートLEDダッシュボードに何も表示されない場合は、次の手順で内蔵電池を再起動させてください。

1: お持ちのUSBケーブル(両側がUSB A端子オス)を使用し、片方をパワーハンドルのUSBポートに、もう片方をパソコンのUSBポート等に差し込みます。別売のBioLiteキャンプストーブをお持ちの場合は、付属の黄色いUSBケーブルをご使用ください。

2: 内蔵電池を15分間充電してください。これにより、内蔵電池が再起動し、発電・蓄電を再開します。充電中はLEDライト4つが順番に点灯します。過充電を避けるため、充電は15分以上行なわないよう注意してください。

3: 内蔵電池はまだ空に近い状態のため、スマートLEDダッシュボードのバッテリー側のライトは一つしか点灯しません。強い火力で水を沸かすと、通常通り発電・蓄電を再開します。

②ケトルを火にかけても充電レベルが上がらないのですが?

・本製品は火と水の温度差を利用して発電します。そのため、火力が弱いと発電力も弱くなり、充電レベルを上げるのに時間を要します。できる限り強火で水を沸かしてください。

・「MIN fill」ラインを超えて本製品に水が入っていることと、本製品が火元に置いてあり、左側の「加熱強度LED」が少なくとも2つ以上点灯していることを確認してください。

③発電するために水を沸騰状態にする必要がありますか? また沸騰状態を続ける必要がありますか?

本製品は火と水の温度差を利用して発電するため、発電させるために必ずしも水を沸騰状態にする必要はありません。また、沸騰状態を続ける必要はありません。沸騰状態を続けると吹きこぼれの恐れがありますので、沸騰したらすぐに火を止めてください。

④一番効率よく発電する方法は?

本製品になるべく冷たい水を入れ、BioLiteキャンプストーブやガスバーナー、キャンプ用ストーブなどの強く集中した熱源の上に置くと、効率よく発電することができます。電熱器やホットプレートなどの分散した火力では、あまり効率よく発電することができません。

⑤赤い三角形のLEDが点滅し、断続的にビーっという音がなるのですが?

炎が高温すぎることを警告しています。本製品を火元から遠ざけるか、火力を弱めてください。ビーっという音は数秒以内に止まるはずです。

⑥赤い三角形のLEDが点灯して、一定のアラームがなるのですが?

お湯が沸騰して、ほぼ蒸発してしまう状態であることを警告しています。すぐに水を足してください。電源ボタンを押して、一時的にアラームを消すことができます。

⑦接続した機器が充電されないのですが?

・右側の「バッテリー LED」の緑色のライトが少なくとも1つは点灯していることを確認してください。ライトが点灯していない場合、外部機器に充電する前に内蔵電池に電力を溜める時間が必要です。

・電子機器の仕様が本製品の出力範囲内にあるか確認してください。本製品はノートパソコンの充電はできません。

・フレキシブルUSB延長コードと充電用ケーブルが適切に接続されているか確認してください。

・「バッテリーLED」が点灯しているのに、機器が充電されない場合は、弊社窓口にご連絡ください。

⑧クリック音がするのですが?

本製品が急速に加熱するか冷却された場合、金属の拡張と収縮のため一時的なクリック音が発生します。これは正常な状態で、製品に影響しません。温度が安定すると、この音は停止します。

⑨左側の最上部のLEDの点灯するのですが?

左側最上部のLEDライトが点滅し始めたら、温度の上限に近づいていることを示します。本製品と火元を注意して監視してください。

⑩ハンドルが収納ポジションに戻らないのですが?

ハンドルを収納ポジションに戻すには、ハンドルリリーススイッチをスライドさせ、パワーハンドルを下げます。なお、この状態で容器は密閉されません。

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。
使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

◯キズや破損等がないかを確認してください。

◯金属製たわしや、磨き粉などは使用しないでください。

◯清掃の際は、金属部を湿らせた布で拭いてください。その際、パワーハンドルを濡らさないでください。また、本製品を水に浸さないでください。これらを行うと、製品内部の電子部品を損傷します。

◯本製品を頻繁に使い、湯垢を取り除きたい場合は、レモン1個分の果汁を入れた水を本製品に入れ、沸騰させてください。

■ 保管方法

◯雨露、塩害、粉塵、直射日光、紫外線、高温、多湿を受けることがない、風通しの良い乾燥した場所(0℃～25℃)で保管してください。

◯直射日光に曝される車の中などの高温となる場所に本製品を放置しないでください。変形や損傷の原因になります。

◯子供の手の届かないところに保管してください。

◯火気を近づけたり、ショートさせないでください。

◯保管中に内蔵電池は使用しなくても自然に放電し、使用できなくなることがあります。長期間使用せずに保管していた場合は、外部機器の充電を行う前に本製品を使用し、内蔵電池へ蓄電してください。

◯最良のメンテナンスのために、少なくとも半年に一度、内蔵電池を満充電してください。